

2024年度(第13回) 定時総会資料

第1号議案

議事録署名人選出の件

第2号議案

2023年度事業報告および収支決算報告並びに監査報告承認の件

報告事項

2024年度事業計画および収支予算報告の件

第3号議案

2024年・2025年度千葉県栄養士会役員選任の件

第4号議案

2024年・2025年度日本栄養士会代議員選挙の件

協賛会員による商品展示は中止し、栄養改善奨励賞、特別講演、総会議事を千葉県栄養士会事務所からLive配信を行った。

定款18条および19条に基づき議決権行使書または委任状により議決を行った。

日時 2023年5月27日(土) 10:00~12:00

場所 千葉県栄養士会事務所 (zoomによるLive配信)
千葉市若葉区殿台町1-2-2

内容 栄養改善奨励賞授与
特別講演「千葉県栄養士会栄養ケア・ステーションに期待することと今後の役割」

講師 国立病院機構千葉東病院

腎臓内科診療統括部長

今澤 俊之氏

2023年度事業報告

総会議事

1. 2023年度定時総会の開催

2023年度定時総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大している中で通常の総会開催は困難なため総会式典、

出席者数 786名 (議決権行使書および委任状含む)

2023年度事業報告

事業番号	事業の内容
公1	県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発、「食の宝庫千葉」の食材に培われた伝統的な食文化の継承と発展、県民の健全な食生活を彩る料理・献立の考案と普及、公衆衛生施策の立案への参画などをとおして、食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業
定款上の根拠	第4条第1項第1号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
1号	本事業は、保健・医療・福祉および教育等の領域において、栄養指導と食事療法を掌る栄養士・管理栄養士の実務をとおして得られる科学上の知見に立脚して、調査、研究および技術開発を行い、医学・農学・家政学などに跨る食と栄養の学術および科学技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図るものである。
6号	本事業は、「事業の内容」欄に記載した一連の取り組みなどをとおして、保健・医療・福祉などの領域における食と栄養の科学および実用技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図り、もって公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
本事業は、県民の食と栄養および健康・栄養指導・食事療法に関する調査などに取り組むものである。大きくは、4つの柱からなり、(1) 1つ目の柱は、調査および資料の収集である。調査および資料の収集の主要な対象は、第1に県民の健康と栄養の実態、第2に、栄養指導・食事療法の事例や症例などである。(2) 2つ目の柱では、調査および資料の収集を踏まえ、栄養指導と食事療法に関する研究および技術開発を行う。(3) 3つ目の柱では、食と栄養の科学の見地から、千葉県の新鮮な食材を生かした伝統的な料理・食文化の継承発展、県民の健康的な食生活を彩る献立・レシピの考案などを行う。(4) 4つ目の柱は、千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進である。いずれの柱も、本会ならでの研究および技術開発活動である。これらの事業により、県民の健康を衛る食と栄養の科学および実用技術の振興を図る。 以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公1の事業を構成するものである。 以下に2023年度事業の実施概要を記載する。	
I. 食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業(定款第4条第1項第1号)	
1. 栄養・健康に関する調査研究事業	
1-1 栄養指導研究所の運営(学術部)	
栄養士・管理栄養士の栄養教育・食事療法の技術の開発・研究への支援・普及などに関する事業を充実させ、それをもとに日常業務における給食管理、栄養教育、食事療法の充実を図り、食と栄養を通じた県民の健康づくりの進展に寄与することを目的に、職域事業部における研究事業の推進並びに栄養士・管理栄養士の研究活動の推進と研究論文・報告書の作成指導、千葉県栄養改善学会の企画・運営(ハイブリッド開催)、健康づくり栄養講座の企画・運営(ハイブリッド開催)、2023年度生涯教育研修会開催の基本方針の検討を例年通り実施した。また、栄養千葉に「栄養指導研究所だより」の執筆、千葉県栄養士会雑誌の企画・立案、ホームページ「現代食事考・かしこく食べる」の見直しについても、例年通り実施した。 【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査・研究、学会開催、広報等の支援 ④栄養士・管理栄養士、大学教員 ⑤単独 ⑥非該当】	

2. 栄養指導・食事療法に関する研究および技術開発と振興

2-1 千葉県栄養改善学会の開催（学術部）

栄養学と栄養改善技術に関する最新の知見に基づく特別講演、教育講演、栄養士・管理栄養士による研究発表などを行う学会を開催して、さまざまな職域分野で働く栄養士・管理栄養士の研究を集約し、知識・技能・情報を共有することにより、日常の栄養士・管理栄養士業務として、おいしく安全な食事作りや効果的な栄養管理・給食管理・食事療法などの充実、向上を図ることを目指した。

本年度は、2月3日（土）に4年ぶりに集合型で聖徳大学にて開催することとし、多くの会員が参加できるようにZoomによるハイブリッド開催とした。学会スローガンは、「私たちは『健康ちば21（第2次）』推進の担い手になろう」と、本年度は「“栄養ケア・ステーション”を県民並びに会員に周知する」をテーマに掲げ、特別講演、教育講演を企画・開催し、一般口頭発表をライブ配信した。

特別講演：「千葉県栄養士会栄養ケア・ステーションの展望」 杉崎幸子（千葉県栄養士会 会長）/ 佐々木徹（千葉県栄養士会栄養ケア・ステーション 栄養食事指導等委員会 委員長）

教育講演：「行動変容のためのヘルスコミュニケーション」 奥原 剛（東京大学大学院医学系研究科 公共健康医学専攻 医療コミュニケーション学）

会員からの一般発表は、13演題にとどまったが、活発な討議がなされた。また、講演集への全協賛会員広告の掲示の他、本年度は、18社25名のご協力をいただき協賛会員の商品展示紹介を実施し、会員への周知を図った。学会参加者数は、会場参加者91名（会員64名、非会員1名、運営協力者（他県会員）1名、協賛会員25名）、Zoom参加者51名、合計142名であった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④栄養士・管理栄養士、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

2-2 「食育媒体の作製と開発」の実技研究会の開催（福祉）

予定がなく実施しなかった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究、開発 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2-3 事例研究会の開催（地域活動）

県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技術の開発を目指し、さまざまなライフスタイルに即した指導方法の研究に努める。3月10日（日）に代用食品をテーマに、マルコメ株式会社 マーケティング部 広報宣伝課 管理栄養士 多和彩織氏をお迎えして、「大豆ミートとその活用について」事例や活用術についての情報提供を受けた。参加者は17名であった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2-4 千葉県栄養士会雑誌の発行（広報部）

さまざまな分野で働く栄養士・管理栄養士に最新の情報と知識を伝え、事業に活用することを目的として、食や栄養に関する学術文、栄養改善奨励賞受賞者の発表内容、各職域の実践事例報告、活動だよりなどを掲載し「栄養千葉」と併せて3回（4月、8月、12月）に発行した。記事は県民や会員外の栄養士・管理栄養士が読むことができるよう、ホームページへ掲載するとともに事務所掲示板へ掲示した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ④雑誌発行 ④委員会で企画・編集 ⑤非該当】

2-5 第27回研究発表会の開催（医療）

病院で共に働く栄養士・管理栄養士と調理師が、日頃の治療食や栄養指導などに関する研究を発表して、その事例や知見を普及し、治療期間の短縮、疾病の再発防止、および、病院給食の質の向上に役立てることを目的に、10月15日（日）にZoomにおいて開催し、38名が参加した。内容は、研究発表4演題と、第2回プラクティスセミナー同時開催として、「高齢者の栄養管理 ～管理栄養士だからできること～」と題し、JA愛知厚生連豊田厚生病院 栄養管理室 栄養管理第1課長 森茂雄 氏による講演を行った。

後日行ったYouTube期間限定配信は2023年10月23日（月）～11月5日（日）で、総視聴回数は166回であった

【①栄養士・管理栄養士、調理師 ②事務所掲示板、ホームページ、③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2-6 千葉県内医療機関栄養業務実態調査の実施（医療）

県内医療機関の栄養管理業務の実態を把握し、栄養業務の改善向上を図ることを目的に昭和58年度から4年ごとに実施しているが、今年度は実施年度ではないため行わなかった。

【①栄養士・管理栄養士、調理師 ②事務所掲示板、ホームページ、③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

3. 食文化の継承発展と健康的な食生活を営むレシピの開発

3-1 「『地産地消』レシピ」の考案と普及（事業部）

健康づくりや食育の推進と千葉県の豊かな食材の活用、食文化の継承・発展に役立てることを目的に、これまでの食育健康料理教室として考案したレシピ（料理）のうち、広く普及することが必要と思われるレシピを四季に分類し、ホームページに地産地消レシピとして掲載した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③開発 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

4. 千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進

4-1 千葉県の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（総務部）

千葉県の行う健康づくりに関する各種委員会・会議などに参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の推進に協力した。各種委員会・会議は以下のとおり。

千葉県食育推進県民協議会、健康ちば地域・職域連携推進協議会、千葉県アレルギー対策協議会、千葉県産米需要拡大推進協議会、千葉県食品等安全・安心協議会、千葉県「健康ちば協力店」推進協議会、千葉県介護支援専門員協議会、千葉県介護予防市町村支援検討会議、千葉県糖尿病性腎症重症化予防対策推進検討会、千葉県慢性腎臓病（CKD）重症化予防対策部会

【①県民 ②県の各会議所草部課等 ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

4-2 千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（千葉地域）

千葉市の行う健康づくりに関する各種委員会、会議などに参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の策定に協力し、千葉市在宅医療推進協議会にも参画し、連携体制の構築に努めた。また、千葉市各区で開催された多職種連携会議に各区1～2名の会員がハイブリッド式で参加して、地域の取り組み推進に係わった。今年度の委員会・会議は以下のとおり。

千葉市健康づくり推進協議会、千葉市地域保健医療協議会、千葉市学校給食センター運営委員会、千葉市在宅医療推進連絡協議会

【①市民 ②千葉市の諸施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的として実施した。このことは、定款第3条、同第4条第1項第1号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるように、調査・研究結果の刊行物での公表、ホームページへの掲載、その内容へのアクセスを可能とする措置を講じた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。事業実施に当たっては、適宜、関連学科学の定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家の指導を受け、もしくは、これらと共同して、理論および実用性の両面において高い質の確保に努めた。

その他、県民の健康を衛る食と栄養の総合的かつ実践的な科学および技術の振興を図ることをとおして公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を実施した。

事業番号	事業の内容
公2	系統的・発展的な卒後教育・生涯教育の推進および養成教育への支援などにより、栄養指導・食事療法のたしかかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業

定款上の根拠 第4条第1項第2号

事業の種類(認定法別表) 事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係

6号	本事業は、「事業の概要」の欄に記載した一連の取り組みなどとおして、栄養指導・食事療法のたしかかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成し、もって公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。健康増進法(平成14年8月2日法律第103号)第3条は国および地方公共団体の責務として「健康の増進にかかる人材の養成および資質の向上を図る」ことをあげているところであり、栄養士・管理栄養士として、有為の人材を育成する事業は、かかる公益上の要請に適うものである。
----	--

事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】

この事業は、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成するために各種の研修などに取り組むものである。栄養士・管理栄養士の人材育成事業であり、3つの柱から成り、(1)1つ目の柱は、基幹研修制度で、中核事業が継続教育・生涯教育研修会である。すべての栄養士・管理栄養士を対象として実施する、系統的で発展的な内容の教育・訓練・学習からなる研修事業である。(2)2つ目の柱は、職域研修制度である。特定職域や特定種類の業務を対象に、専門職業人の技能と心の深耕・発展を図る研修を行う。(3)3つ目の柱は、公益目的事業の人的基盤を強化する事業である。これらの取り組みにより、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士の育成に努めた。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公2の事業を構成するものである。

以下に2023年度事業の実施概要を記載する。

II. 健康づくりに貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業(定款第4条第1項第2号)

1. 継続教育・生涯教育事業-基幹研修制度

1-1 生涯教育研修会の開催(学術部)

栄養士・管理栄養士は科学の進歩と社会の変化に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習熟が求められる。本会では、日本栄養士会が設けたキャリアアップのための生涯教育制度に則り、2014年度から生涯職能開発の考え方を取り入れた生涯教育制度へと移行し運営している。生涯教育制度の基本構造は、「栄養の指導」の専門職として各領域で必須とされるスキルを習得するための基幹教育と、専門とする分野ごとに専門性を高める拡充教育がある。基幹教育は基本研修と実務研修に分けられている。2023年度は、22年度と同様に基本研修は日本栄養士会のe-ラーニングを活用することを基本方針として、オンラインを含む基本研修2.5単位分と実務研修12単位分を、6月17日(土)、7月30日(日)、8月19日(土)、9月30日(土)、10月29日(日)の5日開催した。本年度の実務研修については、「栄養管理プロセス(栄養ケアプロセス:NCP)を学ぶ」をキーワードに、栄養ケアの実践力の習得を目指し、多職域の(職域の枠を超えた)連携を考慮したNCP習得のプログラムを企画した。開催形式は、新型コロナウイルス感染症予防の観点からZoom利用を基本とするハイブリッド開催(事務所にて集合型受講を併用)とした。

受講者数(延べ数)は386人であった。Web(Zoom)開催のメリットである受講のしやすさに加え、事務所での参加も可能としたことで、今後の開催形式の基本形(ハイブリッド開催)が確立されたと考えている。なお、開催に際して、例年通り開催案内をホームページに掲載するなどして広く、栄養士・管理栄養士の参加を募ったが、コロナ禍ではあったが、参加者数は減少した。全職域の会員が参加しやすい研修プログラム内容について検討する必要がある。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講義・演習 ④講師は栄養士・管理栄養士、医師等の関連職種、大学教員 ⑤単独 ⑥非該当】

1-2 日本栄養士会との共同研修事業の実施(事業部)

(公社)日本栄養士会との共同で栄養士・管理栄養士として対応すべき全国的課題を素材に、地域性を活かして実践できる技術、能力を身につける研修事業として実施してきたが、本年度は千葉県として有用なテーマがなく実施を見合わせた。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士、医師等の関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

1-3 人材育成研修会の開催-栄養ケア・ステーション事業に参画できる人材の育成-(学術部、医療)

診療所における外来栄養食事指導および在宅患者訪問栄養食事指導、居宅療養管理指導等の業務を診療所との連携により、千葉県栄養士会栄養ケア・ステーションの栄養食事指導担当管理栄養士がより充実した指導が出来るよう人材の育成・確保を目的として前年度と同様に研修会を行った。

期日は9月17日~10月1日の間、受講者27名に実務研修会(オンデマンド・5科目)と症例に対しての報告書レポートの提出を行い、適格者17名を新たに担当管理栄養士として登録し、登録者は延べ57名になった。

併せて、栄養食事指導担当管理栄養士ミーティングを定例的に10回開催し、診療ガイドラインの研修や症例検討を行い、栄養食事指導の質の向上に努めた。

【①管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座 ④講師は管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

1-4 栄養士・管理栄養士研修会(総会時特別講演)(総務部)

定時総会時に当該年度の栄養士・管理栄養士の活動を考える上での基本的な事柄について講演会を行うことを目的として、5月27日(土)総会終了後に「千葉県栄養士会栄養ケア・ステーションに期待することと今後の役割」と題して、千葉東病院腎臓内科診療統括部長 今澤俊之氏より講演をいただいた。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講座 ④講師は大学教授または専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2. 特定職域・特定種類業務研修事業－職域研修制度

公衆衛生事業部

(1) 中央研修会

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
6月11日(日)	第1回中央研修会	講演 「成長曲線の見方と生活指導への活かし方」 講師 女子栄養大学 客員教授 発育研究者 小林 正子	Web開催	100名 (内 非会員6名)
10月14日(土)	第2回中央研修会	講演 「減塩指導のコツ～無理なく持続可能な減塩の推進～」 講師 社会医療法人製鉄記念八幡病院 理事長 土橋 卓也	Web開催	108名 (内 非会員5名)
12月3日(日)	情報交換会	事例発表「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」 発表者 印西市 主任栄養士 酒井 絵里子 任期付管理栄養士 楠崎 聡子 グループ別意見交換及び全体会	Web開催	9名 (会員、非会員含)

(2) ブロック研修会

ブロック名	期 日	内 容	会 場	出 席 数
東 葛	7月3日(月)	【市栄養士業務連絡会】 (1) 令和5年度各市事業内容について（新規および重点事業） (2) ママパパ学級・離乳食教室について (3) 若年女性のやせについてのアプローチ方法について (4) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業について（ハイリスクアプローチの低栄養予防の対象者抽出について、取り組みと課題・課題改善の取り組みについて） (5) 災害時の食支援について	柏市役所	19名
	8月8日(火)	【保健所栄養士業務検討】 テーマ「給食施設指導のための現状把握及び評価基準の標準化」 (1) 給食施設の栄養管理状況を把握するために必要な項目について (2) 各段階の確認方法や手順（報告書、巡回指導等）について (3) 評価基準作成手順について (4) その他	千葉県東葛飾合同庁舎	7名
	12月4日(月)	【市栄養士業務連絡会】 (1) 第4期特定健診・特定保健指導の実施に向けて (2) ①乳幼児健康診査での栄養士による集団講話の有無について ②成人向け健康講座での試食や調理実習の有無について (3) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業について	習志野市役所	17名
	2024年 2月2日(金)	【保健所栄養士業務検討】 テーマ「給食施設指導のための現状把握及び評価基準の標準化」 (1) 評価基準の検討 (2) 報告書の作成方法について (3) 令和5年度の取組評価及び次年度テーマの検討	市川健康福祉センター	7名
黒 潮	8月8日(火)	【市町業務検討】 ①成人保健事業について ②高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について ③その他 【保健所業務検討】 ①壮年期の食生活改善に向けた食環境整備の取組について ②災害時栄養・食生活活動への備えについて ③その他	千葉県長生合同庁舎	11名
さざなみ	9月25日(月)	【業務検討】 <市町>食生活改善協議会について <保健所>媒体作成について① 【情報交換】<保健所> ・報告書・届出等の提出方法について ・食品表示、健康ちば協力店について	安房合同庁舎 (一部Zoomによる参加)	14名 (Web参加5名を含む)
	2024年 2月1日(木)	【業務検討】 <市町>食生活改善協議会について <保健所>媒体作成について② 【情報交換】<保健所> ・栄養管理状況報告書の活用状況について ・食品衛生協会講習会での情報提供について（方法や内容）	君津保健所	13名
千葉市	6月5日(月)	千葉市における食育推進のためのグループワーク	千葉市役所	10名
	10月2日(月)	千葉市における食育推進のためのグループワーク	千葉市役所	10名

医療事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
4月29日(土) YouTube 配信 5月17日(水) ~ 5月31日(水)	第1回 プラク ティスセミナー	講演 「臨床管理栄養士・栄養士を取得しよう ~診療報酬算定・ 配置要件となることを目指して~」 講師 医療法人SHIODA 塩田記念病院 栄養科 戸矢静華 パネルディスカッション 「認定取得に向けた取り組み」	Web開催 (Zoom)・ YouTube 配信	Web参加42名 YouTube 総視聴回数 103回
9月24日(日)	2023年度第Ⅱ 期ファーストス テップの会	講演 「千葉県栄養士会医療事業部へようこそ ~栄養士会の活 用方法についてお教えします~」 講師 千葉県栄養士会医療事業部 企画運営委員長 荻野悟 座談会	千葉県栄養士会 事務所	3名
10月15日(日) YouTube 配信 10月23日(月) ~ 11月5日(日)	第2回 プラク ティスセミナー	講演 「高齢者の栄養管理 ~管理栄養士だからできること~」 講師 JA愛知厚生連豊田厚生病院 栄養管理室 栄養管理第1課長 森茂雄	Web開催 (Zoom)・ YouTube 配信	Web参加38名 YouTube 総視聴回数 166回
2024年 2月9日(金) YouTube 配信 2月17日(土) ~ 2月27日(火)	第3回 プラク ティスセミナー	【第1部】 講演 「心不全患者に対する栄養療法介入について」 講師 株式会社大塚製薬工場 学術部学術担当 関東ブロック 小鶴泰俊 【第2部】 講演 「心不全の栄養管理 (仮)」 講師 東邦大学医療センター佐倉病院循環器内科 准教授 清水一寛	Web開催 (Zoom)・ YouTube 配信	Web参加28名 YouTube 総視聴回数 145回
地区研修会				
地 区	期 日	内 容	会 場	出 席 数
千葉	8月25日(金)	施設見学および意見交換会	医療法人緑栄会 三愛記念病院	5名
	10月28日(土)	講演 「食生活からみる発達障害」 講師 千葉健生病院 臨床心理士 井出みどり	Web開催	16名
東葛南部	2024年 1月24日(水)	講演 「消化器外科疾患術後の栄養管理」 講師 船橋市立医療センター 外科 副部長 佐藤やよい	Web開催	42名
東葛北部	8月23日(水)	講演 「頭頸部がん治療と栄養について」 講師 国立がん研究センター東病院 頭頸部外科 科長 松浦一登	Web開催	45名
印旛	9月22日(火)	講演 「感染と免疫 ~腸の働きを中心に~」 講師 ネスレ日本株式会社 荘司 光	Web開催	21名
香取海匝	11月29日(水)	講演 「消化器の合併症対策について ~流動食のカテゴリーと 最新のガイドラインを踏まえて~」 講師 ネスレ株式会社 佐藤仁美	Web開催	16名
山武長生夷隅	11月19日(日)	講演 「低栄養・リハビリへの油脂活用と事例紹介 - 食事が 減っている・食べられない方への使用例など -」 講師 日清オイリオグループ(株) 東京支店ウエルネス課 大貫朋美	Web開催	14名
安房	2024年 2月1日(木)	講演 「リハビリテーション栄養」 講師 株式会社クリニック 伊藤亜美	Web開催	17名
君津市原	2024年 2月22日(木)	講演 「嚥下調整色2021をふまえ、うちの施設の嚥下食の献立 にあてはめよう」 講師 株式会社ニュートリー 宮田愛	Web開催	9名
		延べ件数9件	延べ参加数185名	
機関紙の発行 8月、12月、3月 機関紙発行「菜の花」111~113号 各550部				
学校健康教育事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
7月29日(土)	研 修 会	講習会 「米粉×県産食材でいつもの献立にひと工夫！生産者、 料理人に学ぶ和食給食調理講習会」 講師 米生産者：金杉勝城、千葉製粉(株) 稲垣一弥 和食料理人：鈴なり村田明彦 講演・料理実演・調理実習 (和食給食応援団との共催)	公益財団法人 千葉県学校給食会	23名 会員 10名 非会員13名
10月7日(土)	研 修 会	「酪農体験」 講師 加茂牧場 加茂太郎・加茂治美 実技研修 協議 (千葉県酪農農業協同組合連合会との共催)	八千代市 加茂牧場	16名 会員14名 非会員2名
11月25日(土)	勉 強 会	教材作成 『~ちばの恵みで まんてん笑顔~千葉県の特産品を知ろう』 掲示資料作成	公益財団法人 千葉県学校給食会	35名 会員20名 非会員15名

12月16日(土)	研 修 会	講演 「食育と家庭科」 講師 聖徳大学 人間栄養学部 講師 佐藤雅子	公益財団法人 千葉県学校給食会	46名 会員24名 非会員22名
福祉事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
6月23日(金)	第 1 回 研 修 会	講演 「食べるを支える嚥下調整食～美味しく食べる食の援助～」 講師 特別養護老人ホームしゃんぐりら 管理栄養士 増田邦子 情報提供 ヘルシーフード株式会社	Web開催	32名
8月17日(木)	第 2 回 研 修 会	講演 「栄養療法を無駄にしない気持ち良い排便ケア～自身が受 けたいケアにチームで取り組んでみませんか?～」 講師 NPO法人日本コンチネンス協会 コンチネンスアドバイザー 看護師 種子田美穂子 情報提供 千葉県ヤクルト販売株式会社 ニュートリー株式会社 株式会社ハーバー研究所	Web開催	32名
9月16日(土)	第 3 回 研 修 会	講演 「子どもの食事に必要な機能の獲得について」 講師 文京学院大学 保健医療技術学部 作業療法学科 教授 西方浩一	Web開催	48名
10月27日(金)	第 4 回 研 修 会	講演 「栄養ケアプロセスを学ぶ～事例をとおして～」 講師 特別養護老人ホーム 岡山シルバーセンター 福祉栄養(高齢・障がい)分野 認定管理栄養士 窪田 紀之 講演 「栄養ケア・マネジメント成功事例」 講師 介護老人保健施設 フェルマータ船橋 管理栄養士 篠原沙季	Web開催	26名
11月19日(日)	第 5 回 研 修 会	講演 「肥満・やせ児に対する栄養相談・指導のポイント」 講師 和洋女子大学家政学部健康栄養学科 教授 杉浦令子	Web開催	44名
11月29日(水)	第 6 回 研 修 会	「2023年度福祉スキルアップ研修会<Step00> ～栄養ケア・マネジメントを最初から学ぶ」 講演 「介護保険制度について」 講師 千葉県栄養士会福祉事業部 企画運営副委員長 中村典子 演習 「栄養ケア・マネジメントの基礎 ～様式に記入してみよう～」 講師 千葉県栄養士会福祉事業部 企画運営委員 浪川利枝	ハイブリッド開催 (千葉県栄養士会 事務所)	10名
2024年 1月23日(火)	第 7 回 研 修 会	講演 「栄養管理の地域連携 栄養ケア・ステーション活動の実際」 講師 特定医療法人財団五省会 介護老人保健施設 みどり苑 在宅事業部副部長兼診療部栄養管理科長 栄養ケア・ステーション責任者 坂井亜紀 (管理栄養士・在宅訪問管理栄養士・摂食 嚥下リハビリテーション学会認定士) 情報提供 日清オイリオグループ株式会社 キューピー株式会社	Web開催	27名
地域活動事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
4月22日(土)	第 1 回 研 修 会	講演 「肥満症ガイドラインについて」 講師 東邦大学医療センター佐倉病院栄養部 上席室長 鮫田 真理子	千葉市 生涯学習センター	30名
9月16日(土)	第 2 回 研 修 会	講演 「国民健康・栄養調査」について 講師 千葉県市川健康福祉センター 地域保健課 副主幹 石原 徳子 パネリスト 地域活動事業部 松岡 恵子、楠崎 聡子、近藤 みどり	千葉市 文化センター	21名
10月28日(土)	第 3 回 研 修 会	講演 「私たちの食生活とSDGs」 ～地産地消、オーガニック食品、昆虫食、代替肉が SDGsでなぜ注目されるのか～ 講師 聖徳大学人間栄養学部 人間栄養学科 准教授 森 直子	千葉市 文化センター	15名
8月1日(火)	視 察 研 修 会	食品サンプルづくりに挑戦	元祖食品サンプル 屋	9名

2024年 1月23日(火)	情報交換会	和食への理解を深め、食の情報交換を行った	音波 (OTOHA) 船橋店	7名
8、12、3月	機関紙発行	184~186号 各300部		

研究教育事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
8月26日(土)	研 修 会 (学生・ 一般向け)	2023年度 第1回 研究教育事業部研修会 テーマ：「栄養士を120%活用する方法」 ☆千葉県栄養士の各職域を代表する会員から、職域別に主な業務内容（魅力や課題など）の紹介並びに、栄養士の魅力や入会の必要性など、当該職域に関連する情報を提供いただき、栄養士・管理栄養士の職場を知り、職業意識を高める機会を設けた。 ① 公衆衛生事業部 張替みえこ（野田市保健センター） ② 医療事業部 荻野 悟（玄々堂君津病院） ③ 学校健康教育事業部 小林千恵子（我孫子市立布佐南小学校） ④ 福祉事業部（老人福祉施設） 寺山加恵（特別養護老人ホームアコモード） ⑤ 福祉事業部（保育所） 吉村友奈（千葉市千城台西保育所） ⑥ 地域活動事業部 杉崎幸子（千葉県栄養士会長）	Web開催 (Teams ウェビナー)	72名 (主催/サポート 教員9名、発表 者6名含む)
12月9日(土)	研 修 会 (教員向けスキル アップ研修) 役員情報交換会	教員スキルアップセミナー テーマ「研究教育職としてのスキルを高めよう！」 第1部 「AI時代に求められる栄養士教育におけるICTの活用の課題と展望」 講師 同志社女子大学名誉教授 小松龍史 第2部 「こころの問題を抱える学生へのサポートの実際 ー待っただけのサポートから働きかけるサポートの実際ー」 講師 川村学園女子大学 心理学教授 佐藤哲康	Web開催 (Zoom ミーティング)	26名 (発表者 2名含む)

千葉地域事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
9月13日(水)	給食施設研修会	テーマ「口から食べる事の大切さ～おいしく食べ続けてもらうために、食事提供者ができること～」 講師 和洋女子大学 健康栄養学科 教授 柳沢幸江	千葉市 総合保健センター	33名

いずれの事業も【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演 セミナー ④講師は栄養士・管理栄養士、医師などの関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】として行った。

3. 公益活動を強化するための人材を確保する事業（組織部）

公益目的事業を適正かつ円滑に行う上で重要な人材確保のため、本会の行う事業の意義や必要性などについて組織財政問題検討委員会において「組織事業強化中長期計画（2021年作成）」に基づいて推進の取り組みの検討をし、理解を深めた。入会の推進として、栄養千葉8月号発送時に全会員に「会員拡充運動の推進のお願い」の文書を同封し、身近な未加入者への入会の働きかけ協力を依頼した。また、養成校卒業予定者へ入会を働きかけるため、県内外養成校9校に「入会案内」リーフレットなどの配布をした。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、リーフレットなどの配布③その他 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第2号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるように、研修等の内容や開催日時、受講資格が開かれていることなどをホームページ、雑誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。研修会の講師、演者には、実務家養成の見地から、適宜、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を招くなどして理論的にも実践的にも高い質の確保に努めた。

その他、県民の伴侶としてその健康づくりに確かな貢献を行う栄養士・管理栄養士を育成することをとおして、公衆衛生の向上に寄与するとの目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公3	健康の増進、疾病の予防と治療に資する食事・栄養摂取のあり方について、講演会や講習会の開催、開かれた常設的相談窓口の設営、地域社会での諸活動、刊行物などによる知識・知恵の発信と交流など、多様な形態で行う栄養指導・給食管理・食事療法や食育に関する取り組みをとおり、県民の健全で稔り豊かな食生活の自律的な営みを支援する事業
定款上の根拠	第4条第1項第3号
事業の種類（認定法別表）	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」（健康増進法第30条の2第1項参照）を謳っており、これを受けて、本事業は、「事業の概要欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、「[食]に関する知識と[食]を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」（食育基本法前文）とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り扱われるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、または豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」（公益法人認定法別表9号）にも該当する。

9号

健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を規定しており、これを受けて、本事業は、「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる(食育基本法前文)とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。

本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「(教育を通じて)国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」(公益法人認定法別表9号)にも該当する。

事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】

健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」(健康増進法第30条の2第1項参照)を謳っており、本事業は、栄養士・管理栄養士の専門的知見と技能を生かした組織的活動により、疾病の予防と治療および療養、そして日常の食生活の各分野で、県民にかかる「自主的な努力」を支援するものである。この事業は、3つの柱からなり、(1)1つ目の柱は、個々の県民の個性・特性に合わせた栄養指導その他の専門的支援を組織的に行うものである。(2)2つ目の柱は、食生活の改善をもって県民の健康・栄養・疾病予防上の課題に対処すべく、広く県民に対し食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及などを行うものである。(3)3つ目の柱は食・栄養と健康に関する情報コミュニケーション事業である。この3つの柱による参加と協働を宗とする開かれた多種多様な活動とおして、健全な食生活・食事摂取の在り方の確立に向けた県民の取り組みを支援する。

以下に掲げる個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公3の事業を構成するものである。

以下に、2023年度事業の実施概要を記載する。

Ⅲ. 県民が健康で裕り豊かな生活を営むことができるよう支援する事業(定款第4条第1項第3号)

1. 個別特性対応型の自律支援事業

1-1 テレフォン栄養相談事業(広報部)

第2、第4月曜日の10時から16時まで、食と栄養に関する疑問を直接電話で受け相談員が回答する「食べ物なんでも相談」を実施した。また事業の適正な運営を図るため、9月、3月の2回担当者会議を開催した。相談件数の増加に向けて事業の内容を千葉日報「現代食事考」、千葉県中小企業団体中央会「情報誌」の記事の後に記載する他、本会ホームページのトップページに本事業の案内を掲載、会報誌への活動報告、配布用のチラシおよびカードを更新し配布に努めた。

今年度の相談件数は11件であった。

【①県民 ②千葉日報新聞、配布広告、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士が担当 ⑤単独 ⑥非該当】

1-2 特定保健指導の実施(総務部)

前年度に引き続き、中央建設国保千葉土建かずさ支部および千葉支部の初回面接および3ヶ月から6ヶ月の間に継続支援などの個人指導を行うほか、保健指導の実施率の向上を図るため、健診時腹囲の他1つ以上保健指導の要件のある者に対し初回面談を行い、かずさ支部、千葉支部の健診時に担当者が出向いて個人面談を実施した。

延べ149名(動機づけ支援46名、積極的支援103名、支援レベル未確定0名)に対して保健指導を実施した。担当者の育成・確保のための担当者会議を9月11日(月)と3月11日(月)に実施した。

【①県民 ②主催者の広報、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】

1-3 介護予防栄養改善事業の実施(総務部)

(株)ダンロップスポーツウエルネスからの依頼を受け、介護予防教室の栄養改善を担当し講義を行っていたが、依頼がなく、実施しなかった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】

1-4 日赤「低ヘモグロビン献血者に対する健康相談」事業(事業部)

日赤からの依頼がなく、実施しなかった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】

1-5 栄養食事指導等の実施(総務部、医療、福祉)

診療所における外来栄養食事指導および在宅患者訪問栄養食事指導、居宅療養管理指導等の業務を診療所との連携により、千葉県栄養士会栄養ケア・ステーションの栄養食事指導担当管理栄養士が医師の指示に基づく適切な栄養食事指導を行い、疾病の治療と重症化の予防、食事療法に対する満足度の向上などを目的として事業開始の準備を進めた。

事業の開始に当たっては栄養食事指導等委員会を定例的に10回開催し、業務委託契約書や栄養食事指導の実施に必要な帳票類、教材の作成、指導の方法と事務の流れ、人材の育成などについて検討を進めた。これらを基に適正・円滑に指導を実施するための方法を取りまとめた「千葉県栄養士会 栄養ケア・ステーション 栄養食事指導手順書」を作成し担当者の研修に使用した。

併せて、事務局、医療事業部、栄養食事指導担当管理栄養士との関連委員会・検討会、研修会などを平行して開催して実施に必要な準備を進め、外来栄養食事指導は7月からモデル事業を開始し、2施設・延べ35件食事指導を行った。在宅訪問栄養食事指導・居宅療養管理指導は、モデル事業を開始するための準備を行った。

また、千葉県糖尿病性腎症重症化予防対策推進検討会、千葉県慢性腎臓病重症化予防対策部会にそれぞれ年2回出席し、情報の収集と関係機関、関係団体との連携に努めた。

【①県民 ②依頼者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】

2. 集団特性対応型の自律支援事業

2-1 千葉市健康づくり大会への協力事業(千葉地域)

例年10月の健康づくり週間に行われていました市民健康づくり大会については、今年度は4年ぶりの開催となった。10月14日(土)に中央区のきばーるで、栄養相談コーナーと食生活コーナーを実施し、合計で224名と多数の参加があった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④栄養士・管理栄養士、関係専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-2 がん予防展への協力事業(事業部)

9月のがん征圧月間にあたり、千葉県、(公財)ちば県民保健予防財団、千葉県がんセンターの共催により、「がん予防展・がん講演会」を開催し、がん予防・健康増進の意識高揚に努めた。開催地域の医療事業部会員が協力し、がん予防に役立つパネルなどの展示とがんなどの生活習慣病の予防に関する栄養相談を担当している。今年度は栄養相談・パネル展示で参加した。がん予防展は9月3日(日)セブンパークアリオ柏1階 イースト・コート広場にて実施、参加者は634名だった。がん講演会は動画配信で実施され配信期間9月29日(金)~10月13日(金)視聴再生回数は266回だった。

【①県民 ②主催者の広報 ③展示、相談・助言 ④栄養士・管理栄養士、関連専門職種 ⑤協力 ⑥非該当】

2-3 地域健康づくり推進事業（医療）

県内8地区の活動として、地区内の自治体、または、医療機関、および他職種の職能団体が開催する健康増進に関するイベントに参加、協力し、地域住民に対する展示や食生活相談などを行う予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催されなかった。

【①県民 ②主催者の広報、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-4 看護の日行事への協力事業（千葉地域）

千葉県看護協会千葉地区の行う看護の日のイベントは、看護協会からの依頼がなく、実施しなかった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-5 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催（事業部）

第54回千葉県栄養改善大会は食生活普及月間の行事として、例年9月に食生活の改善に携わる栄養関係2団体（本会、千葉県集団給食協議会連合会）の共催により、関係者の知識・技術の向上と県民の健康づくり運動の推進と意識の高揚を図り、県民の栄養改善を推進することを目的に千葉県他の後援を得て開催している。今年度は健康づくりや食生活改善等にご尽力頂いた方への知事表彰と共催団体会長表彰については千葉県市民会館小ホールにおいて2023年9月28日（木）14:00～14:40にて対面で実施。健康づくり食生活講演会は千葉県栄養士会公式チャンネルよりYouTube配信し、千葉県設立150年でもあり「千葉の郷土料理を学ぶ」と題してNPO法人千葉自然学校 理事 遠藤陽子 氏に千葉県における食の変遷をご講演を頂いた。配信期間は2023年9月28日（木）～10月11日（水）視聴再生回数は、講演 180回・団体紹介 53回であった。

【①県民 ②事務所掲示板、千葉日報新聞、ホームページ他 ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

2-6 健康づくり栄養講座の開催（学術部）

県民を対象とした健康づくりや健康寿命の延伸に役立つ内容として、栄養・運動・休養に関する講座を開催した。本年度は、11月19日（日）に、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点からWeb（Zoom）開催とした。テーマは「健康づくりは栄養・運動・休養 -気軽に身近な取り組みを！」とし、講座内容は以下のとおりである。なお、受講者は34名（Zoom参加者31名、事務所参加者3名）であった。

講座1：運動・身体活動領域 「動楽で健康長寿」 樋口 満（早稲田大学スポーツ科学学術院 名誉教授）

講座2：食事・食生活領域 「いつ何を食べるか～食事と体内時計を合わせよう～」 多賀 昌樹（和洋女子大学 健康栄養学科 准教授）

講座3：休養・睡眠領域 「快適な睡眠から体の休養を！～今日から実践できる疲労・ストレス解消～」 池本 真二（聖徳大学人間栄養学科 教授）

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、チラシの配布 ③講座・セミナー ④医療スタッフ（専門職）、大学教員 ⑤単独 ⑥非該当】

2-7 食育健康料理教室の開催（事業部）

この事業は平成16年から公民館等を利用して健康づくりと生活習慣病の予防・食育の推進を目的として、県民に直接望ましい食と栄養について実習を通じて働きかける事業として開始した。適正、円滑な運営を図るための手引きの作成と担当者会議を開催し実施してきた。新型コロナウイルス感染症が5類となり、約4年ぶりに4地区で対面開催が出来た。「おいしくたのしく食事で元気」をテーマに、サブテーマを参加者の世代別に「適度な塩分で100歳をめざそう」「やさいとなかよくなろう」として実施し、千葉市10月14日（土）参加者8名、松戸市11月18日（土）参加者9名、柏市11月30日（木）参加者9名、鴨川市12月25日（月）参加者11名であった。

【①県民 ②事務所掲示板、実施会場でのチラシなどの配布、親子料理教室の場合は近隣の小学校に依頼 ③体験学習（料理教室） ④栄養士・管理栄養士が企画・実施 ⑤単独 ⑥非該当】

2-8 講演会・料理教室などでの講演の実施（総務部）

関係機関・団体等の依頼に応じて、健康づくりや生活習慣病予防に関する各種講演会、研修会、料理講習会、栄養指導などを行って、食と栄養を通じた健康づくりの支援を行った。13件の依頼に対して延べ13名が講師を務めた。

【①県民 ②主催者の広報 ③講演・セミナー、体験学習（調理実習） ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-9 親子料理教室の開催（学校健康教育）

11月11日（土）我孫子市生涯教育センター『アビスタ』において、米粉と野菜の活用をテーマに親子料理教室を開催した。8組17人の親子が参加し、調理実習、意見交換を行った。

【①県民 ②該当する学校へチラシ配布 ③体験活動（調理実習）、講話 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

2-10 千葉市食育の日事業への協力（千葉地域）

食育推進計画の中の取り組みとして、7月1日（土）に「食育のつどい2023」がイオンマリニピア店で開催され、6名の会員が運営に当たり普及啓発に努めた。食への関心や理解を深める目的として本会はパネル展示等を行い、ブースには119名の来場者があった。

【①県民 ②千葉市の広報 ③相談助言 ④栄養士・管理栄養士、関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-11 調理補助講習事業への協力事業（事業部）

（公社）千葉県シルバー人材センター連合会の求めに応じて、派遣就業を希望する高齢者の就業機会の拡大を図るため、調理補助者などとして必要な知識を習得することを目的として調理実習と講話を行ってきたが、依頼がなかった。

【①県民 ②シルバー人材センターの行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-12 千葉県学校保健学会への協力事業（学校健康教育）

12月17日（日）明海大学浦安キャンパスで行われた第26回学校保健学会に参加し、ワークショップを行った。ワークショップでは『元気な毎日のために～生きる力を育むための食育教材研究～』をテーマに教材を作成し、活用方法を協議した。学校保健学会には55人の参加、ワークショップには13人の参加があった。

【①栄養士・管理栄養士、関連職種 ②主催団体の行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士、関連職種 ⑤協力 ⑥非該当】

2-13 ウェルネスセミナー開催への協力事業（事業部）

大塚製薬㈱の依頼を受け9月24日（日）に浦安スポーツDAYに参加された幼小中学生の保護者に向けた家族の健康食育セミナーに協力し15名が参加した。

【①県民 ②主催団体の行う広報、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-14 災害時栄養支援事業（総務部）

災害発生時の迅速・円滑な支援体制の整備のため、会議を定期的に開催して各種の事業を進めた。JDA-DATリーダーの確保に向けて、会員に日本栄養士会の開催するリーダー研修会への参加を奨励し3名（スキルアップ研修会2名含む）が受講し、リーダー登録者は延べ16名になった。スタッフの確保および資質の向上を目的として、「日本栄養士会災害支援チーム活動マニュアル」を基に研修内容を企画し、感染防止の観点から、千葉市文化センターにおいて、ZOOMを使用しているハイブリッド方式にて、10月21日（土）にJDA-DAT千葉スタッフスキルアップ研修会を開催し34名が受講した。この研修会において、DiMS（(Dietitian Matching System)）の登録を行い登録者数は38名になった。JDA-DAT千葉の登録の充実を図るため、随時、LINEオープンチャットなどを活用し、情報の提供を行った。

日本栄養士会の作成した、「各都道府県栄養士会災害対応におけるアクションカード運用マニュアル」を基に「災害時栄養・食生活支援活動ガイド」及び「アクションカード」について見直しを行い、千葉県栄養士会版を作成することとし委員が分担して作業を進め、2024年3月作成を完了した。今後は、これを基に理事会等での理解を深め、支援体制の整備を進める。

県民への非常災害に備えた啓発活動については、千葉日報「現代食事考」に非常災害に備えた食料の確保対策について2回掲載した。併せて、パッキングレシピ集の見直しを行った。

9月2日（土）に千葉県弁護士会主催の災害・食と栄養の研修会において、災害対策委員会の鯨岡春生氏が「災害時の食と栄養」と題した講演を行い、関係者の災害に備えた食の確保の重要性について理解を深めた。

【①県民 ②ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-15 介護摂食嚥下等相談事業（学術部）

介護・摂食嚥下関係の食事や栄養に関して、他の関係団体並びに関係職種から問合せがあった時に、速やかに専門的知識を有する者を紹介できるような人材を確保して対応を図った。本年度は、1件の問い合わせがあり2名の管理栄養士が対応した。

【①関係専門職種 ②ホームページ ③情報提供 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

2-16 栄養の日事業（事業部）

「栄養の日」（8月4日）が定められ、栄養週間（8月1日～7日）が設けられた。

千葉日報「現代食事考」（7月30日発行）に「栄養の日」に関する記事を掲載し、周知及び普及を図った。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、千葉日報、毎日新聞千葉版、チラシの配布 ③講座・セミナー、展示 ④大学研究者、専門家、管理栄養士 ⑤主催、共催 ⑥非該当】

2-17 健康づくり提唱のつどい（事業部）

千葉県ヤクルト販売㈱の協賛を得て近隣の県との輪番で3年ごとに共催実施しており、今年度千葉県が担当ではなく、実施計画がなかった。

【①県民 ②栄養士・管理栄養士 ③主催団体の行う広報、ホームページ ④講座・セミナー ⑤大学研究者、専門家 ⑥管理栄養士 ⑦主催、共催 ⑧非該当】

3. 食と栄養と健康の情報コミュニケーション事業

3-1 インターネット・ホームページによる情報の提供（広報部）

ホームページを利用して多くの人々に千葉県栄養士会の活動や各種事業の広報と食と栄養の観点から健康づくりに役立つ情報を提供するように努めた。新型コロナウイルス感染症対策緩和に伴い、研修会等はwebと対面型のハイブリッド開催が主流となり、随時更新を行い情報提供に努めた。また、協賛会員対応としてトップページに「協賛会員からのお知らせ」を増設し情報提供に努めた。

健康づくりに役立つ情報としての「現代食事考・かしこく食べる」の内容の見直し・最新の情報に書き換え更新を行ったが、『地産地消』レシピはデータの不具合により一部更新ができていなかった。ホームページ運営委員会を6月、11月、2月の3回 web併用にて実施し運営方法の充実にも努めた。SNSサイトを活用した情報発信・共有が求められる社会情勢に対応するため、公式SNSサイト開設に向け検討委員会・作業部会を経て準備を進め、運営委員会へ移設し情報発信ができる体制を整えた。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④栄養士・管理栄養士が記事を書いて編集 ⑤単独 ⑥非該当】

3-2 千葉日報「現代食事考」記事の提供事業（広報部）

千葉日報社の協力を得て、毎週日曜日の千葉日報新聞「現代食事考」欄に、年間執筆計画をもとに国の健康づくりに関する月間・年間行事などを踏まえ、健康づくりや病気の予防、行事にまつわる料理や千葉県で生産される旬の食材の活用に関する記事を会員の協力を得て提供した。2023年度は52回分の記事提供となり、掲載された記事は冊子として作成した。

【①県民 ②千葉日報新聞、ホームページ ③その他（記事提供） ④栄養士・管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

3-3 放送協力事業（事業部）

今年度は依頼が無く実施しなかった。

【①県民 ②放送局広報、ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士の出演 ⑤単独 ⑥非該当】

3-4 健康づくりと栄養改善のパネルの作成と貸し出し（広報部）

食生活改善や疾病の予防に関するパネルを作成し、「栄養の日」、地域の健康づくりイベントや健康づくりに関する行事などに貸し出しを行っている。今年度は新型コロナウイルス感染症対策緩和に伴い対面型イベント開催が増えたが、貸出は0件であった。パネルの新規作成は行わなかった。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④管理栄養士によるパネル作成 ⑤単独 ⑥非該当】

3-5 千葉県中小企業団体中央会「情報誌」への健康づくりに関する記事の提供事業（広報部）

千葉県中小企業団体中央会情報誌「中小企業ちば」の「食と健康ワンポイント」欄に年4回記事を提供し、県民の食と栄養を通じた健康づくりを支援した。

【①県民 ②中小企業団体中央会「情報誌」 ③その他（情報提供） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

3-6 千葉県国民健康保険団体連合会「機関誌」への記事の提供事業（広報部）

千葉県国民健康保険団体連合会「機関誌」に手に入れやすい旬の食材を使ったレシピを5回掲載した。レシピ作成・料理については地域活動事業部会員の協力を得て行い、県民の健康維持に役立てられるように支援した。

【①県民 ②千葉県国民健康保険団体連合会「機関誌」 ③その他（情報提供） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第3号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるように、講演会、展示会、集会などの内容や開催日時、参加資格が開かれていることなどをホームページや自治体の広報誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

講演会などの講師は、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を充てるなどして、的確でわかりやすく実用的な内容となる質の高いものにした。

その他、健全な食生活・食事摂取のあり方の確立に向けた県民の取り組みを支援することをおして、公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公4	地域社会の保健・医療・福祉の増進に関わる各種の専門職・専門家の連携と協働関係の形成、食品・食事の提供に係る事業者への業務支援、地域社会の栄養改善に貢献した個人・団体の顕彰、栄養士・管理栄養士にかかる制度の改善を図る取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を支える食環境の整備を進める事業。
定款上の根拠	第4条第1項第4号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」（公益法人認定法別表19号）にも該当する。
19号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業概要欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」（公益法人認定法別表19号）にも該当する。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
<p>県民の食生活に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。本事業は3つの柱から成り、(1)1つ目の柱は、栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉および教育などの分野の各職種並びに健康づくり関連企業への助言や支援などの連携・協働関係の構築。(2)2つ目の柱は、栄養改善に貢献した団体・個人の顕彰。(3)3つ目の柱は、適正な食生活を支援する制度の整備などに取り組むこととおして、県民の食環境を望ましいものにすべくその整備を行おうとするものである。これは、県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公4の事業を構成するものである。</p> <p>以下に、2023年度事業の実施概要を記載する。</p>	
IV. 健康な食生活を支える食環境の整備を進める事業（定款第4条第1項第4号） 1. 連携構築事業 1-1 関係団体の行う各種健康づくりに関する委員会への参加と催しへの協力（総務部、事業部） 関係機関、団体における地域および健康づくりに関する委員会・会議に参画するとともに、催しに協力して健康づくりや疾病予防に関する各種事業の推進を通じて、連携の強化を図った。今年度の状況は以下のとおり。 <関係機関・関係団体> (公社)千葉県医師会、(一社)千葉県歯科医師会、(公社)千葉県看護協会、(一社)千葉県歯科衛生士会、(一社)千葉県調理師会、(一社)千葉県診療放射線技師会、千葉県食生活改善協議会、千葉県集団給食協議会連合会、(公財)ちば県民保健予防財団、(一社)千葉県薬剤師会 <関係機関・関係団体で組織する県民の健康づくりを推進する組織> 障害児(者)のための摂食嚥下指導事業推進委員会、千葉県小児保健協会、千葉県学校保健学会、千葉県公衆衛生協会、千葉県糖尿病対策推進会 <催しへの協力> 千葉県歯科衛生士会主催「かむ子・のびる子、元気な子」料理コンクールの催しの「料理審査担当」を務めるとともに、「栄養士会会長賞」の授与を行った。 【①県民 ②主催団体の広報 ③その他(情報発信) ④専門的な知見を有する者 ⑤単独 ⑥非該当】	
1-2 調理師試験受験準備講習事業などに対する協力事業（事業部） 特定給食施設で共に働く調理員や飲食店などで働く調理従事者の調理師試験合格率の向上を図り、衛生的で安全な食事の提供に資することを目的として、(一社)千葉県調理師会を行う調理師試験準備講習会の開催・運営に協力した。平成28年度から本会が公衆衛生、栄養学、食品学、調理理論、食文化概論を担当して実施している。8月6日～9月21日の間に県内4会場で開催された講習会に延べ20名(講師10名)が講師を務めた。講習会の実施にあたって、7月2日(日)に調理師試験対策委員会および準備講習会講師合同会議を開催し、調理師試験の概要、受験準備講習会の趣旨、講師を務めるにあたっての留意事項などについて共通理解を深め講習内容の充実に努めた。2024年2月20日(火)に県主管課の同席を得て本会と調理師会との合同会議を開催し、翌年度の適正・円滑な実施に向け、協議を行った。出席者は16名であった。 【①県民 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】	
1-3 「調理師による県民の食生活の向上に関する条例」に基づく講習会への協力事業（事業部） 平成28年度4月1日からの県条例の施行に伴い、(一社)千葉県調理師会の本部、支部が実施することになった講習会の開催にあたり、前年度に引き続き受験準備講習会の講師が「栄養と健康」「食文化」「調理学」を担当し、研修会の適正・円滑な実施に協力した。9月5日～1月31日の間に7会場で開催され、延べ9名(講師7名)が運営に協力した。 【①調理師 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】	
2. 栄養改善に貢献した個人・団体を顕彰する事業 2-1 栄養改善奨励賞の授与(学術部、総務部) 栄養改善に顕著な功績のあった栄養士・管理栄養士に対して栄養改善奨励賞の授与を行い、栄養士・管理栄養士の研究の奨励、振興を図ることを目的として行った。第23回千葉県栄養改善学会において発表された一般発表13演題を対象に、同日(2月3日)学会終了に顕彰審査委員会を開催し、厳正に審査した結果、4題を表彰に値するとして理事会に推薦した。理事会において推薦のあったものを栄養改善奨励賞に決定し、2024年度定時総会式典において表彰する。決定した演題は、以下のとおりである。	
演題番号：3	災害時保健活動における栄養、食生活支援の取り組みについて (西川恵美/八千代市子ども部母子保健課、横田弘美/八千代市健康福祉部健康づくり課)
演題番号：8	慢性期病棟における食支援について～看取り方向だった患者が経口摂取可能となった症例～ (志村恵美、高木健司/千葉しずい病院栄養科、リハビリテーション科)

演題番号：9 (公社)千葉県栄養士会栄養ケア・ステーションの取り組み クリニックでの外来栄養食事指導の報告
(久米淑子、酒井陽子、鈴木史子、望月智子、大石恵、佐々木徹)

演題番号：11 「生涯健康で心豊かな人づくり」へつなぐためのおいしい減塩
(佐藤幸子、藤平裕子/君津地区学校栄養士会)

【①栄養士・管理栄養士、栄養関係団体・個人 ②事務所掲示板、ホームページ ③表彰 ④顕彰審査委員会、審査基準、評価基準の新設 ⑤単独 ⑥非該当】

3. 適正な食生活を支援する制度の整備

3-1 栄養教諭の配置促進事業 (総務部)

栄養教諭の配置促進により、小・中学校における食育を推進することは健全な発育と生涯にわたる心も体も健康な児童生徒の育成につながるものであることから、千葉県教育委員会主管課に対して、栄養教諭の配置促進、市町村負担の学校栄養職員への栄養教諭の門戸拡大などの要望書を千葉県教育庁に会長他担当者が持参し、今までの増員の御礼を述べるとともに、栄養教諭を配置することの成果などのアンケート結果などを説明してきたが、2023年度は実施しなかった。

【①栄養士・管理栄養士 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-2 県・市町村行政栄養士配置促進事業 (総務部)

日本栄養士会の要望活動趣旨に応じて実施しており、これまで、地域住民の食と栄養を通じた各種健康づくりの進展を目的に市町村行政栄養士の複数配置や高齢者の低栄養や生活習慣病重症化予防等の栄養課題への対策をより充実し効果をあげるために、健康づくり部門のみならず、高齢福祉・介護保険部門への管理栄養士の正規職員配置促進について、県内市町村における行政栄養士の従事状況を踏まえ要望活動を実施してきたが、今年度は実施しなかった。

【①栄養士・管理栄養士 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-3 栄養士・管理栄養士の適正配置促進事業 (総務部、組織部)

高齢社会が進行し健康づくりや生活習慣病の重症化予防、介護予防などの栄養管理の重要性が高まる中、県民の要望に応えるため無料職業紹介所を併設し、ホームページなどで事業者および栄養士・管理栄養士に利用を案内し、40件の求人、5件の求職があった。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他 (情報発信) ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-4 食品の栄養成分表示の促進事業 (事業部)

消費者に食を通じた健康づくりの必要性の理解を深め、健康づくりの推進とともに、高齢者を対象とした配食サービスで提供される食事の栄養管理の充実に向け、これらの製造などに関わる事業者などの求めに応じて食品の栄養成分表示を促進するために体制の整備を図ることを計画したが、依頼がなく実施しなかった。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他 (情報提供) ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第4号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。広く県民に開かれたものとして機能する連携関係や制度づくりを行い、不特定かつ多数の者が本事業による利益を享受できるように努めた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門性を反映させた。事業は適宜、定評のある研究者(大学教員)、専門職、その他の専門家と連携して行い、理論的にも実践的にも高い質の連携関係や制度づくりに努めた。

その他、県民(地域住民)の健全な食生活の礎となる地域社会づくりなどの食環境の整備をもって公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

V. 法人運営に関する事業

1. 各種事業の充実への取り組み

1-1 執行体制の強化 (総務部)

事業および会議などの年間予定表を作成し、理事会、部長会、各種委員会などを定期的に開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため会議、委員会等はリモート会議(Zoom)中心の開催とした。(1月20日理事会は対面方式)

1-2 事務局体制の充実 (総務部)

事務局の業務分担や業務の処理方法を明確にして、事務の理解と事務処理の効率化に務めた。また会計事務の充実をもとに、経費の節減と効率的な執行に務めることなどを中心に、業務の適正かつ効率的な運営に努めた。

1-3 栄養ケア・ステーション事業推進委員会の開催 (総務部)

委員会を8月26日(土)と11月18日(土)に開催し、栄養ケア・ステーション事業の充実と円滑な実施に務めた。また、県内認定栄養ケア・ステーションとの情報交換会議を認定栄養ケア・ステーション連絡会議として3月2日(土)にweb開催した。

1-4 職域事業部事務担当者会議の開催 (総務部)

7月15日(土)各部との合同により職域事業部各役員を対象に研修会および会議を実施し、今年度の事業および組織運営など基本的な事柄について理解を深めた。(Web開催) また、職域事業部の会計担当者を対象に会計担当者会議を6月24日(土)に開催し、職域事業部・地域事業部における会計処理方法について周知し、適正かつ円滑な会計処理の実施に努めた。(対面開催)

1-5 組織財政問題検討委員会の開催 (組織部)

委員会を6月10日(土)と2月10日(土)に開催した。組織事業強化中長期計画評価について検討し、評価実施後は課題や今後の取り組みを話し合った。また、組織事業強化中長期計画(2021年作成)の重点事項である、会員の拡充について・事務所修繕改築積立金についての検討を行った。

1-6 協賛会員対策の推進 (総務部)

会報誌「栄養千葉」および「ホームページ」に優良商品の紹介と協賛会員名簿を掲載した。また、協賛会員との相互理解を深めることを目的とする新春賀詞交換会を1月20日(土)三井ガーデンホテル千葉で実施した。展示会を2月3日(土)千葉県栄養改善学会の開催時に実施した。

1-7 非常災害時支援体制の整備 (総務部)

日本栄養士会が進めるJDA-DAT事業の推進に向け、各職域事業部から推薦された委員による非常災害対策委員会を設置し、委員会を開催した。6月4日(日)、8月5日(土)、10月7日(土)、12月2日(土)、2月10日(土)

1-8 会費の自動払込みの促進 (総務部)

会費の早期納入および事務局の作業軽減、徴収時の事故防止の観点から、会費の「自動引き落とし」利用者の増加に向けて、会報誌「栄養千葉」や各種研修会実施時に会員への周知を行った。利用者は354名(昨年と同じ)となった。

1-9 財政基盤の強化 (総務部)

会員の減少が続いている状況をふまえ、財政基盤強化のための会員および協賛会員の確保に務めた。併せて各種事業の経費節減に務めるとともに、会費未納者への納入促進について、文書の発送を行い、財政基盤の強化に努めた。

1-10 栄養士職場問題対応委員会の運営 (総務部)

会員からの相談はなく、委員会は開催しなかった。

1-11 (公社) 日本栄養士会関係会議への出席 (総務部)

定時総会および諮問会議、京浜地区会長会議などの各種関係 WEB 会議に出席し、日本栄養士会が行う各種事業の円滑な執行に協力するとともに、本会事業の充実に努めた。

1-12 諸規程の整備 (総務部)

公益法人としてのより適正な組織・運営を行うため、千葉県栄養士会栄養ケア・ステーション事業の拡充を図ることを目的として規程の変更を行った。

1-13 会報「栄養千葉」の発行 (広報部)

4月、8月、12月に143号～145号を発行した。記事は簡潔明瞭に努め、ページ数が増えないように配慮した。

1-14 叙勲受賞祝賀会 (総務部)

長谷川克己先生が令和元年秋に旭日双光章を受章したことを祝い、祝賀会を11月4日(土)三井ガーデンホテル千葉で実施した。

2. 組織・事業強化中長期計画の推進 (組織部)

組織財政問題検討委員会にて、「組織事業強化中長期計画(2021年作成)」の重点事項である「目標会員数2000名を目指して」に関し、会員数増加への取り組みについて検討を行った。「事務所修繕改築積立金の口座開設」に関し、積立の方法や金額、期間等について検討し、理事会において2024年度より会員1人あたり300円/年の積立を開始することを決定した。また、組織事業強化中長期計画の実施評価を確認し、各部・各職域事業部での課題を共有し、今後の取り組みを検討した。

3. 会議の開催

理事会

第1回 2023年4月15日(土)

- 2022年度収支決算報告および監査報告について
- 2023年度定時総会の開催運営について
- 2023年度生涯教育研修会の開催について
- 入会の承認について
- 日本栄養士会会長表彰推薦候補者の決定について
- 長谷川克己先生叙勲授賞祝賀会の開催について
- その他

第2回 2023年5月27日(土)

- 2023年度事業の執行について
- 2023年度事業・会議予定表について
- 2023年度生涯教育研修会の開催運営について
- 栄養千葉144号・栄養士会雑誌No.40の発行について
- その他

第3回 2023年7月1日(土)

- 2023年度事業の執行について
- 千葉県栄養士会会長表彰の決定について
- その他

第4回 2023年9月9日(土)

- 千葉県栄養改善大会開催運営について
- 食育・健康料理教室の開催について
- JDA-DAT スタッフスキルアップ研修会の開催運営について
- 健康づくり栄養講座の開催について
- 千葉県栄養改善学会の開催について
- 栄養千葉145号・栄養士会雑誌No.41の発行について
- 公式 SNS サイト運営委員会設置について
- 栄養食事指導等委員会について
- 中・長期経過君評価について
- 長谷川克己先生叙勲授賞祝賀会の開催運営について
- その他

第5回 2024年1月20日(土)

- 第24回千葉県栄養改善学会の開催運営について
- 今年度事業について
- 2023年度収支見込みについて
- 事務所修繕積立金について
- 2023年度事業報告・収支決算の取りまとめについて
- 2024年度事業計画・収支予算案の作成について
- 2024年度生涯教育研修会の開催について
- 2024年度定時総会の開催について
- 栄養千葉146号・栄養士会雑誌No.42の発行について
- 会員の入会の承認について
- その他

第6回 2024年3月9日(土)

- 2023年度事業報告案の作成について
- 2024年度事業計画・収支予算の決定について
- 2024年度生涯教育研修会の開催について
- 2024年度定時総会の開催について
- 入会申込者の承認について
- 第24回2023年度栄養改善奨励賞の決定について
- 食育・健康料理教室の開催について
- 2024年度現代食事考執筆計画について
- その他

拡大部長会

第1回 2023年5月13日(土)

1. 2023年度定時総会の開催運営について
2. 2023年度事業の執行について
3. 2023年度事業・会議予定について
4. 生涯教育研修会の開催運営について
5. 栄養千葉144号・栄養士会雑誌No.40の発行について
6. その他

第2回 2023年6月10日(土)

1. 2023年度事業の執行について
2. その他

第3回 2023年8月26日(土)

1. 食育・健康料理教室のレシピについて
2. JDA-DAT スタッフスキルアップ研修会の開催運営について
3. 栄養講座の開催について
4. 千葉県栄養改善学会の開催について
5. 栄養千葉145号・栄養士会雑誌No.41の発行について
6. 公式SNSサイト開設について
7. 栄養指導等委員会について
8. 中・長期計画の評価について
9. 長谷川克己先生叙勲授賞祝賀会の開催運営について
10. その他

第4回 2023年11月18日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の開催について
2. 今年度事業について
3. 2023年度事業報告・収支決算書のとりまとめについて
4. 2024年度生涯教育研修会の開催について
5. 2024年度事業計画・収支予算案の作成(職域事業部・地域事業部含む)について
6. 2023・2024年度役員の選任について
7. 2024年度定時総会の開催について
8. 2023年度収支見込みについて
9. その他

第5回 2024年2月24日(土)

1. 2023年度事業報告案の作成について
2. 2024年度事業計画・収支予算案原案の作成について
3. 2024年度生涯教育研修会の内容について
4. 2024年度定時総会の開催について
5. 各種委員会の構成と選出について
6. 食育・健康料理教室の開催について
7. 2024年度現代食事考執筆計画について
8. その他

貸借対照表

2024年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	18,237,632	20,890,963	△ 2,653,331
前払費用	72,270	72,270	0
過誤納付費用	50,000	0	50,000
流動資産合計	18,359,902	20,963,233	△ 2,603,331
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	4,292,550	5,086,611	△ 794,061
基本財産合計	4,292,550	5,086,611	△ 794,061
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,886,335	2,766,311	120,024
医療機関栄養業務実態調査預金	574,403	524,401	50,002
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	600,000	0
柴田顕彰会預金	3,457,387	3,527,353	△ 69,966
特定資産合計	7,518,125	7,418,065	100,060
(3) その他固定資産			
什器備品	9,370	10,515	△ 1,145
ソフトウェア	0	0	0
敷 金	150,000	150,000	0
保証金	150,000	150,000	0
その他固定資産合計	309,370	310,515	△ 1,145
固定資産合計	12,120,045	12,815,191	△ 695,146
資産合計	30,479,947	33,778,424	△ 3,298,477
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受会費	4,137,600	5,715,500	△ 1,577,900
預り金	2,824,784	3,665,789	△ 841,005
流動負債合計	6,962,384	9,381,289	△ 2,418,905
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,883,670	2,763,670	120,000
固定負債合計	2,883,670	2,763,670	120,000
負債合計	9,846,054	12,144,959	△ 2,298,905
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	20,633,893	21,633,465	△ 999,572
(うち基本財産への充当額)	(4,292,550)	(5,086,611)	(△794,061)
(うち特定資産への充当額)	(7,518,125)	(7,418,065)	(100,060)
正味財産合計	20,633,893	21,633,465	△ 999,572
負債及び正味財産合計	30,479,947	33,778,424	△ 3,298,477

正味財産増減計算書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息			
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	60	57	3
③ 受取入会金			
受取入会金	128,000	136,000	△ 8,000
④ 受取会費			
受取会費	15,042,500	14,975,000	67,500
受取協賛会費	2,800,000	2,800,000	0
⑤ 事業収益			
受取受講料 (会員)	786,500	835,900	△ 49,400
受取受講料 (会員以外)	183,100	55,700	127,400
受取分担金	40,000	60,000	△ 20,000
受取業務手数料	4,683,580	4,552,934	130,646
受取事業協賛金	260,000	280,000	△ 20,000
販売収益	0	0	0
雑収益	2,146,495	0	2,146,495
⑥ 受取補助金			
補助金	45,878	26,000	19,878
⑦ 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
⑧ 雑収益			
受取利息	110	82	28
経常収益計	26,116,223	23,721,673	2,394,550
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	5,887,861	5,792,056	95,805
臨時雇賃金	808,169	818,344	△ 10,175
退職給付費用	96,000	96,000	0
福利厚生費	510,588	465,619	44,969
会議費	485,948	366,351	119,597
旅費交通費	897,293	700,280	197,013
通信運搬費	1,576,325	1,537,436	38,889
減価償却費	556,645	556,742	△ 97
消耗品費	731,107	719,341	11,766
印刷製本費	971,291	985,068	△ 13,777
光熱水料費	240,726	270,078	△ 29,352
賃借料	630,000	630,000	0
保険料	33,264	28,409	4,855
諸謝金	3,489,947	2,846,000	643,947
会場費	111,460	17,190	94,270

科 目	当年度	前年度	増 減
リース料	726,148	679,834	46,314
食料費	95,355	38,828	56,527
支払負担金	414,816	388,066	26,750
渉外費	0	0	0
表彰費	33,564	44,290	△ 10,726
修繕費	0	0	0
消耗什器備品費	0	0	0
租税公課	39,060	38,640	420
雑費	183,212	322,064	△ 138,852
事業費計	18,518,779	17,340,636	1,178,143
② 管理費			
役員報酬	360,000	360,000	0
給料手当	1,471,965	1,448,014	23,951
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	24,000	24,000	0
福利厚生費	127,647	116,407	11,240
会議費	511,380	338,745	172,635
旅費交通費	71,578	86,359	△ 14,781
通信運搬費	271,078	240,107	30,971
減価償却費	238,561	238,604	△ 43
消耗品費	249,249	151,247	98,002
修繕費	0	47,300	△ 47,300
印刷製本費	1,905,307	1,695,677	209,630
光熱水料費	103,168	115,746	△ 12,578
賃借料	270,000	270,000	0
保険料	8,058	6,588	1,470
諸謝金	506,000	603,793	△ 97,793
会場費	153,672	0	153,672
リース料	311,206	291,356	19,850
食料費	1,567,818	15,816	1,552,002
支払負担金	131,364	107,764	23,600
渉外費	195,982	325,636	△ 129,654
表彰費	34,452	46,160	△ 11,708
租税公課	16,740	16,560	180
雑費	67,791	57,791	10,000
管理費計	8,597,016	6,603,670	1,993,346
経常費用計	27,115,795	23,944,306	3,171,489
当期経常増減額	△ 999,572	△ 222,633	△ 776,939
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 999,572	△ 222,633	△ 776,939
一般正味財産期首残高	21,633,465	21,856,098	△ 222,633
一般正味財産期末残高	20,633,893	21,633,465	△ 999,572
II 正味財産期末残高	20,633,893	21,633,465	△ 999,572

2023年度正味財産増減計算書内訳表

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合 計	備 考
	公1 科学技術 振興事業	公2 人材育成 事業	公3 自律支援 事業	公4 食環境 整備事業	公益共通	公益事業計			
1 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受取利息									
特定資産運用益									
特定資産受取利息	0	0	0	0	60	60		60	
受取入会金									
受取入会金					64,000	64,000	64,000	128,000	新入会者 128名
受取会費									
受取会費					7,521,250	7,521,250	7,521,250	15,042,500	会員1,503名 職域事業部のみ5名
協賛会費					2,800,000	2,800,000		2,800,000	協賛会費56口
事業収入									
受取受講料(会員)	0	716,100	70,400		0	786,500		786,500	生涯教育研修会 5日間分参加費他
受取受講料(会員以外)	2,000	153,100	28,000		0	183,100		183,100	
受取分担金	0	0	20,000		0	20,000	20,000	40,000	改善大会・食生活講演会
受取業務手数料	0	0	3,985,380	532,000	0	4,517,380	166,200	4,683,580	栄養ケアステーション事業
受取事業協賛金	50,000	0	210,000		0	260,000		260,000	ホームページ他各種事業への協賛金
販売収益	0	0	0		0	0		0	
雑収益	0	0	0		0	0	0	0	雑収益
受取補助金等	0	0	0		0	0		0	
受取補助金	0	0	45,878		0	45,878		45,878	千葉県および非常災害時栄養支援事業補助金
受取寄付金	0	0	0		0	0		0	
受取寄付金	0	0	0		0	0		0	
雑収益	0	0	0		0	0		0	
受取利息	0	17	0		0	17	93	110	受取利息
雑収益	0	0	0		0	0	2,146,495	2,146,495	賀詞交歓会、祝賀会他
経常収益計	52,000	869,217	4,359,658	532,000	10,385,310	16,198,185	9,918,038	26,116,223	
(2) 経常費用									
事業費									
給料手当	809,581	2,064,873	2,619,509	393,898		5,887,861		5,887,861	職員給料・手当
臨時雇賃金	0	0	808,169	0		808,169		808,169	繁忙期臨時雇入れ職員
退職給付費用	13,200	33,668	42,710	6,422		96,000		96,000	
福利厚生費	70,206	179,063	227,161	34,158		510,588		510,588	社会保険、労働保険、健康診断
会議費	23,926	234,669	204,059	23,294		485,948		485,948	
旅費交通費	134,994	285,952	426,461	49,886		897,293		897,293	
通信運搬費	411,084	845,823	294,817	24,601		1,576,325		1,576,325	栄養士会雑誌等発送費含む
減価償却費	76,539	195,216	247,651	37,239		556,645		556,645	建物、什器備品
消耗品費	88,002	249,387	366,464	27,254		731,107		731,107	事務機器他消耗品
印刷製本費	410,588	366,404	189,262	5,037		971,291		971,291	封筒、振替用紙他
光熱水料費	33,100	84,423	107,099	16,104		240,726		240,726	電気・ガス・水道料
賃借料	86,625	220,941	280,287	42,147		630,000		630,000	事務所地代
保険料	4,983	8,901	16,824	2,556		33,264		33,264	
諸謝金	111,822	1,232,862	1,753,763	391,500		3,489,947		3,489,947	生涯教育他講師等謝金
会場費	69,300	20,990	21,170	0		111,460		111,460	
リース料	99,845	254,661	323,063	48,579		726,148		726,148	事務機器リース料
食料費	27,637	47,486	20,232	0		95,355		95,355	
支払負担金	32,521	82,946	207,526	91,823		414,816		414,816	防犯契約
渉外費	0	0	0	0		0		0	
表彰費	0	0	0	33,564		33,564		33,564	栄養改善奨励賞
修繕費	0	0	0	0		0		0	
租税公課	5,371	13,698	17,378	2,613		39,060		39,060	
支払利息	0	0	0	0		0		0	
消耗什器備品	0	0	0	0		0		0	
雑費	36,784	72,671	65,765	7,992		183,212		183,212	
事業費計	2,546,108	6,494,634	8,239,370	1,238,667	0	18,518,779		18,518,779	
管理費	0.1375	0.3507	0.4449	0.0669		1		1	
給料手当						1,471,965		1,471,965	職員給料・手当
臨時雇賃金						0		0	
退職給付費用						24,000		24,000	
福利厚生費						127,647		127,647	社会保険、労働保険、健康診断
会議費						511,380		511,380	改善大会含む
旅費交通費						71,578		71,578	
通信運搬費						271,078		271,078	電話料、メール便、切手
減価償却費						238,561		238,561	建物、什器備品
消耗品費						249,249		249,249	事務機器他消耗品
修繕費						0		0	
印刷製本費						1,905,307		1,905,307	栄養千葉、封筒、振替用紙他
光熱水料費						103,168		103,168	電気・ガス・水道料
賃借料						270,000		270,000	事務所地代
保険料						8,058		8,058	
諸謝金						506,000		506,000	税理士、司法書士謝金
会場費						153,672		153,672	改善大会含む
リース料						311,206		311,206	事務機器リース料
食料費						1,567,818		1,567,818	改善大会、新春賀詞交歓会、祝賀会
支払負担金						131,364		131,364	防犯契約、日赤ほかへの寄付
渉外費						195,982		195,982	
表彰費						34,452		34,452	
租税公課						16,740		16,740	
役員報酬						360,000		360,000	
雑費						67,791		67,791	
管理費計	0	0	0	0	0	8,597,016		8,597,016	
費用合計	2,546,108	6,494,634	8,239,370	1,238,667		18,518,779		27,115,795	
公益事業比率	0.094	0.240	0.304	0.046		0.683		0.317	

財産目録

2024年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表項目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金預金			
	現金	手元保管		
		現金	運転資金として	160,053
		職域事業部・千葉地域事業部現金	運転資金として	144,905
	普通預金	千葉銀行みつわ台支店		
		普2006576	運転資金として	128,833
		普2020609	運転資金として	279,874
		普3192700	運転資金として	185,703
		普3409598	運転資金として	341,005
		千葉信用金庫作草部支店		
		普0682242	運転資金として	321,723
		普0685151	運転資金として	6,571,798
	普通貯金	ゆうちょ銀行		
		10580-15293221	運転資金として	50,139
		10570-30174421	運転資金として	93,458
		10530-10135981	運転資金として (公衆衛生)	187,574
		10520-37125371	運転資金として (医療)	688,943
		10520-54350591	運転資金として (地活)	280,378
		10130-79051931	運転資金として (研教)	45,982
		10540-39470871	運転資金として (学校)	151,295
	10540-9029131	運転資金として (福祉)	175,563	
振替口座	ゆうちょ銀行			
	00110-7-779711	運転資金として	218,974	
	00180-2-94011	運転資金として	7,346,517	
	00180-0-576091	運転資金として	864,915	
		【現金預金計】	18,237,632	
前払費用	セコムに対する前払額	防犯契約料4～6月分	72,270	
		【前払費用計】	72,270	
過誤納付金	千葉市より	減免による	50,000	
		【過誤納付金費用計】	50,000	
流動資産合計			18,359,902	

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金額
(固定資産)				
基本財産	建物	115.7㎡ 千葉県若葉区殿台町122 平屋1階建	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0% 【基本財産計】	4,292,550 4,292,550
特定資産	退職給付引当資産	ゆうちょ銀行	従業員の退職金の支払いに備えた 積立資産である。	2,886,335
	医療機関栄養業務 実態調査預金	ゆうちょ銀行(定期) ゆうちょ銀行(普通預金) 現金	県内医療機関栄養業務実態調査 事業の積立資産である。	251,000 323,403 0
	全国公衆栄養活動 研究会預金 柴田顕彰会預金	ゆうちょ銀行 千葉信用金庫作草部支店	全国公衆栄養活動研究会事業の 積立資産である。 栄養改善功労者を顕彰するた めの事業の積立資産である。 【特定資産計】	600,000 3,457,387 7,518,125
その他固定資産	什器備品	パソコン3台、金庫1台他	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0%	9,370
	ソフトウェア 敷金・保証金	会計ソフト 紅谷正男氏に対する敷金支払額 紅谷正男氏に対する保証金支払額	敷金として 保証金として 【その他固定資産計】	0 150,000 150,000 309,370
固定資産合計				12,120,045
資産合計				30,479,947
(流動負債)				
	前受会費	会員からの預り額	2024・2025年度の会費及び入会金の預り額 公衆衛生 42名分 医 療 134名分 学 校 28名分 福 祉 100名分 地 活 101名分 研 教 10名分 【前受会費計】	420,000 1,322,600 281,000 1,004,000 1,010,000 100,000 4,137,600
	預り金	会員からの預り額 2024年度分 講師からの預かり金 職員、税理士他からの預り額 協賛会員からの預かり金 2024年度分 社会保険料3月分	日栄会費の預り額 399名分 源泉所得税の預り額 源泉所得税の預り額 協賛会費 1口分 社会保険料4/1自動引き落とし分 【預り金計】	2,587,900 45,162 56,132 50,000 85,590 2,824,784
流動負債合計				6,962,384
(固定負債)				
	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員1名の退職金の支払いに備えるもの 【退職給付引当金計】	2,883,670 2,883,670
固定負債合計				2,883,670
負債合計				9,846,054
正味財産				20,633,893

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物・・・法人税法に規定する定額法によっている。
 什器備品・・・法人税法に規定する定率法によっている。

(2) 引当金の経常基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において要支給額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	5,086,611	0	794,061	4,292,550
小 計	5,086,611	0	794,061	4,292,550
特定資産				
退職給付引当資産	2,766,311	120,024	0	2,886,335
医療機関栄養業務実態調査定期預金	201,000	50,000	0	251,000
医療機関栄養業務実態調査普通預金	323,401	2	0	323,403
医療機関栄養業務実態調査現金	0	0	0	0
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	0	600,000
柴田顕彰会預金	3,527,353	34	70,000	3,457,387
小 計	7,418,065	170,060	70,000	7,518,125
合 計	12,504,676	170,060	864,061	11,810,675

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物	4,292,550	0	(4,292,550)	0
小 計	4,292,550	0	(4,292,550)	0
特定資産				
退職給付引当資産	2,886,335	0	(2,886,335)	(2,886,335)
医療機関栄養業務実態調査預金	574,403	0	(574,403)	0
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	(600,000)	0
柴田顕彰会預金	3,457,387	0	(3,457,387)	0
小 計	7,518,125	0	(7,518,125)	(2,886,335)
合 計	11,810,675	0	(11,810,675)	(2,886,335)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	17,262,213	12,969,663	4,292,550
什器備品	1,495,829	1,486,459	9,370
ソフトウェア	338,256	338,256	0
合 計	19,096,298	14,794,378	4,301,920

以上のとおり相違ありません。

2024年4月10日

公益社団法人 千葉県栄養士会
会長 杉崎 幸子 印
副会長 鯨岡 春生 印
副会長 石原 徳子 印

監査報告書

公益社団法人千葉県栄養士会
会長 杉崎 幸子 様

2024年4月10日

公益社団法人千葉県栄養士会
監事 高橋 芳恵 印

公益社団法人千葉県栄養士会
監事 酒井 秀大 印

私たち監事は、2023年4月1日から2024年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 各監事は、理事及び事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
- (2) 各監事は、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書類並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。